



茨城県職員 ガイダンス

H29.1.19

茨城県人事委員会事務局

のびしろ
日本一。
いばらき県

1 茨城県の概要

[茨城県の特徴]

- 豊かな自然・気候・風土
- 産業拠点，最先端の科学技術
⇒日立，東海，つくば，鹿島
- 豊富な農林水産物
⇒東京都中央卸売市場のシェア12年連続第1位(青果物)
- 広域交通ネットワーク化
⇒陸：常磐線，TX，常磐道，北関東道，圏央道
海：茨城港，鹿島港 空：茨城空港



茨城県は様々な分野で
発展可能性を秘めている

茨城県総合計画

[いばらき未来共創プラン]

【基本理念】

みんなで創る 人が輝く
元気で住みよい いばらき

【3つの目標】

- ◇ 「人が輝く」 いばらきづくり ◇
- ◇ 「活力ある」 いばらきづくり ◇
- ◇ 「住みよい」 いばらきづくり ◇

2 県職員の業務内容

[職種紹介 事務（知事部局等）]

● 特色

県行政のあらゆる分野で様々な仕事に携わることができる。

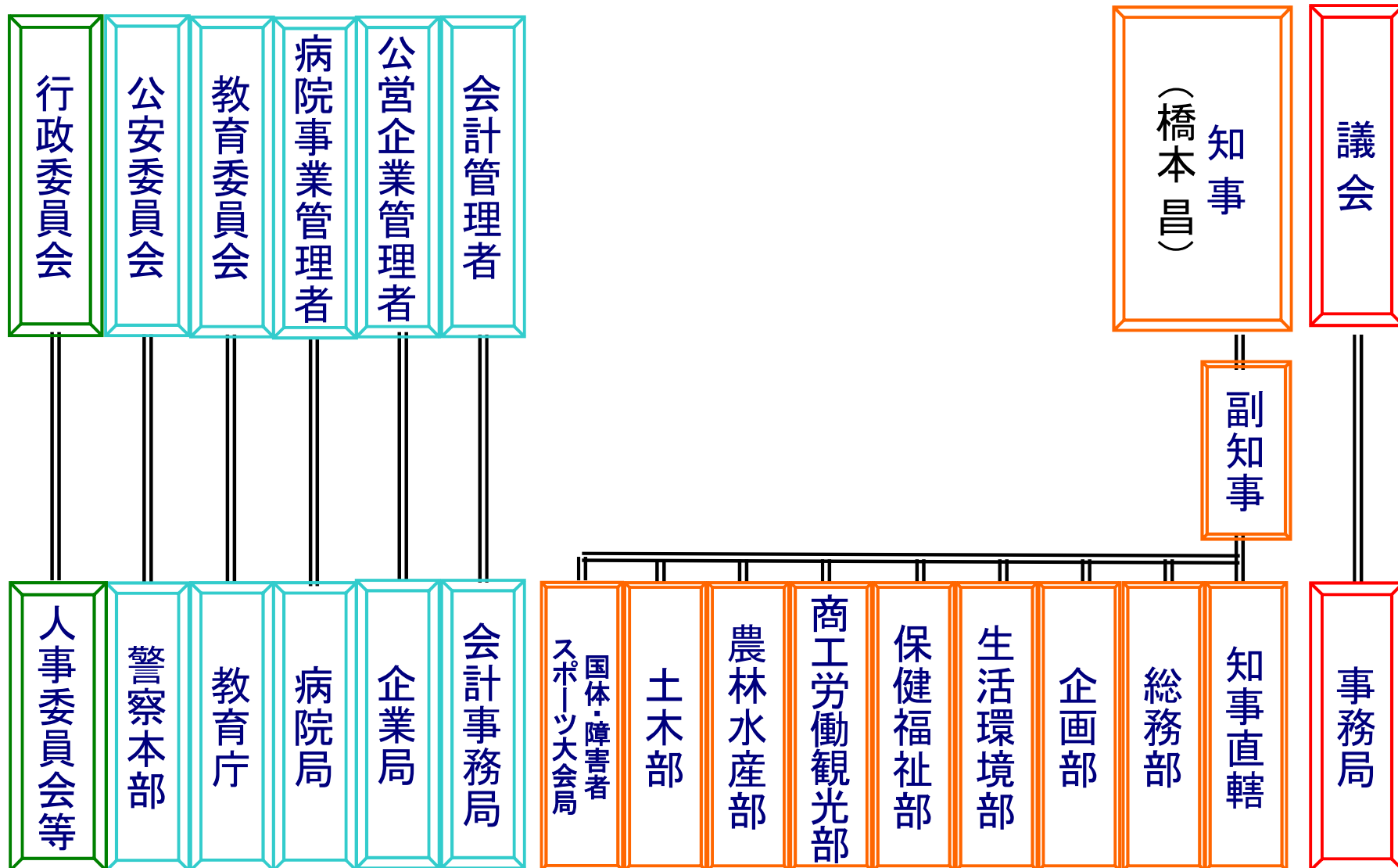
● 主な業務内容

- ・ 施策の企画・推進, 予算の編成・執行
- ・ 条例・規則の制定
- ・ 申請に対する許認可 など

● 主な勤務場所

- ・ 知事部局, 教育委員会等の本庁又は出先機関
(行政委員会等との人事交流あり)

[県の組織]



3 給与・勤務条件・福利厚生等

[給与(初任給)]

(H29.4.1現在)

区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	大学卒	195,888円

- 院卒・職歴が有る場合には一定額を加算
- 6%の地域手当を含んだ額
- このほか、「扶養手当」「住居手当」「通勤手当」「期末・勤勉手当(年2回, 6月・12月)」「時間外勤務手当」等の支給有り
- 勤務成績に応じて, 原則, 年1回昇給有り
- 人事委員会の勧告により給与の改定有り

[勤務時間]

- 午前8時30分～午後5時15分

※ 予算編成や議会対応，担当業務により残業することもあります。

[休暇制度]

- 完全週休2日制（原則，土曜，日曜は休み）

- 年次有給休暇

1年につき20日(4月に採用された年は15日)

- 特別休暇

夏季休暇5日，結婚，忌引，介護等

[配置・勤務先・昇任]

- 異動に関する希望調査（年1回実施）
 - ・ 希望業務，勤務地など
- 配置換のサイクル
 - ・ 3～5年が目安
- 本庁と出先機関，知事部局と教育委員会・行政委員会等との人事交流あり
- 勤務成績に基づき，上位の職に昇任
 - ・ 主事・技師→主任→係長→課長補佐
→課長→次長→部長

[福利厚生]

- 共済制度

【療養・年金給付等】

- 健康管理

【定期健康診断, 人間ドック等】

- 体育・レクリエーション

【球技大会等 (バレー, 野球, バドミントン, 卓球)】

- サークル

【神輿, 野球, サッカー, スキー, テニス, 美術, 生花等】



球技大会(バレーボール)
の様子

[子育て支援制度 (主なもの)]

- 育児休業 (男性・女性対象, 無給 (※))

子が3歳に達するまで

〔※ 子が1歳に達するまでは地方公務員共済組合から
育児休業手当金が支給されます。〕

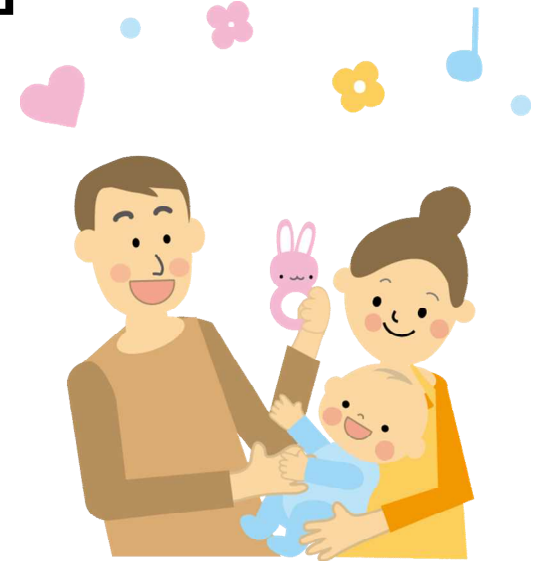
- 育児時間休暇 (男性・女性対象, 有給)

子が1歳6月に達するまでで, 1日2時間を超えない範囲

- 男性職員の育児参加休暇 (男性対象, 有給)

生まれてくる子又は小学校就学前の子の養育。

産前8週から産後8週までで5日を超えない範囲。



[研修制度]

【新規採用職員研修の様子】



- 新規採用職員研修

公務員としての心構えや基礎的
法令知識等を修得する。

- 一般研修（各職層対象）

政策形成能力向上のための行政課題
研究やディベートなどを行う。

- 特別研修

政策研究講座，リスクマネジメント講座，女性のための
ワーク・ライフ・バランス講座，クレーム対応能力向上講
座など，県民ニーズや社会環境の変化に的確に対応するた
めの能力を養う。

● 派遣研修

H28年度の実績

(1) 国への派遣 【15名】

(2) 他県との人事交流 【1名】

(3) 市町村との人事交流 【13名】

(4) 民間企業への派遣研修 【6名】

(5) 大学への派遣研修 【6名】

(6) 団体への派遣研修 【8名】

● 庁内公募制度

「やる気」を持った職員を希望する業務の担当課に配置

1 業務提示型公募

新規プロジェクト・イベント等新たな発想や専門能力が求められる業務をあらかじめ提示し、応募職員のうち適任者を、当該公募業務の所管組織に配置

2 職員提案型公募

職員が自ら取り組みたい課題や業務に係る提案を行い、優位性の高い課題や業務の提案者を、提案に係る課題や業務の所管組織に配置

3 研修・派遣型公募

民間企業、他の地方公共団体等の派遣先をあらかじめ提示し、応募職員のうち適任者を、当該派遣先に係る所管組織に配置

4 採用試験の概要

[大学卒業程度試験]

試験区分		受験資格（採用時年齢）
県職員	大学卒業程度	22～29歳 (薬剤師・獣医師:24～34歳)

職 種	
事務系	事務(知事部局等) 事務(警察本部)
事務系以外	電気, 機械, 土木, 建築, 化学, 薬剤師, 管理栄養士, 農業, 農業土木, 畜産, 林業, 水産, 獣医師, 福祉, 心理

※ 一部の職種では、資格・免許の取得(見込を含む。)を必要とします。

※ 年度によって募集しない職種もあります。

[試験の方法 (大学卒業程度試験)]

項目		方法	内容
第1次試験	教養試験	択一式 (2時間)	【大学卒業程度】 50問出題40問解答(選択解答)
	専門試験	択一式 (2時間)	【大学卒業程度(事務)】 50問出題40問解答(選択解答) 【大学卒業程度(事務以外)】 40問出題全問解答
第2次試験	論文試験	1次試験日に実施 (1時間20分)	災害に強い地域づくりのために行政が取り組むべきこと(H28)
	口述試験	集団討論, 個別面接(2回)	
	適性検査		

[配点割合（大学卒業程度試験）]

試験科目		配点（満点）		基準点
		事務	その他職種	
第1次試験	教養試験	100点	80点	満点の4割
	専門試験	100点	120点	
第2次試験	論文試験	50点		満点の4割
	集団討論	100点		
	個別面接（1回目）	100点		—
	個別面接（2回目）	250点		満点の4割5分

[採用試験スケジュール] (H28)

	申込受付	第1次試験 〔教養試験 専門試験 論文試験〕	第2次試験 〔適性検査 口述試験〕	最終合格 発表
大学 卒業 程度	【インターネット】 5月9日～ 5月18日 【郵送・持参】 5月9日～ 5月20日	6月26日	【適性検査・口述試験 (1回目)】 【口述試験(2回目)】 7月19日～8月24日	8月31日

[茨城県の採用試験の特徴]

- 教養試験問題（大卒程度試験）で『茨城県に関する問題』を出題（H22年度～）

- * 問題は、茨城県HPから閲覧できるコンテンツの中から出題
- * 「茨城県の紹介」「観光」「産業」「県政情報」などを参照
- * 県人事委員会HPに「例題」を公表中

[茨城県に関する問題（例題）]

地図上のA～Cは、茨城県内の観光施設の所在地を示しているが、A～Cにあてはまる施設の組合せとして正しいのは次のうちどれか。

- ① A アクアワールド茨城県大洗水族館
B 袋田の滝
C ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- 2 A 国営ひたち海浜公園
B 竜神大吊橋
C 茨城県天心記念五浦美術館
- 3 A 国営ひたち海浜公園
B 竜神大吊橋
C ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- 4 A アクアワールド茨城県大洗水族館
B 竜神大吊橋
C ミュージアムパーク茨城県自然博物館



- 5 A アクアワールド茨城県大洗水族館
B 袋田の滝
C 茨城県天心記念五浦美術館

[口述試験の留意点]

- 個別面接において、事前に提示する『茨城県に関する課題』に対する考えを聞きます。

(H28大学卒業程度試験)

「茨城県が誇る地域資源」を一つ挙げ、それを使った地域の振興策を述べてください。

[受験申込方法（3種類）]

① インターネット（H28年度：86.1%）

インターネット

- 案内に従って必要事項を入力するだけ（スマートフォンからも可能）
 - 受付期間内なら24時間いつでも申込み
 - 申込費用無料（通信費は別途）
- * 郵送による場合、「簡易書留」になるので、430円かかります。また、返信はがき用切手52円分を添付する必要があります。

② 郵送

③ 持参

[茨城県人材育成基本方針] (H12.3)

- 県職員に求められる資質・能力
 - 全体の奉仕者としての強い使命感
 - コスト意識に根ざした経営感覚
 - 広い視野と先見性に裏打ちされた豊かな創造力